


お肌の若返い



その1

シミ・シワ・ニキビに、ケミカルピーリングと
ピーリング剤のお話



ケミカルピーリングをご存知ですか？

「ピーリング」という言葉は、元々英語のpeel（「皮をむく」の意味）から来ています。一般的に表皮の一番上にある正常な角質は12～20層あると言われ、28日から30日の周期で自然に生まれ変わっていきませんが、この生まれ変わり作用が正常に働かなかったり、表面の古い角質が取り除かれずにいつまでも残ったりすると、角質層が30～40層にも重なってしまうことがあります。

ケミカルピーリングはこの古くなった角質層を弱い「酸」などにより化学的に剥離する方法で、その時用いられる「酸（薬剤）」をピーリング剤と言います。この古い角質がピーリングにより剥離されるたびに、より深い層にあるメラニンも浮き上がってきて肌の黒ずみが取れ、角質層の下にある真皮層でのコラーゲンが増殖し、肌に潤いやハリが出てくると言われています。



何に効果があるの？

角質が毛穴をふさぎ、皮脂の排出ができなくなった時に起こるニキビに対しては、毛穴につまっている角質を一緒に取り除くことで高い適応を示します。その他、メラニン（色素）を浮き上がらせる作用があるのでシミや美白に対しての効果が認められていますが、効果には個人差があるため、過度の期待をする前に、どれだけの効果が得られそうかを医師と良く相談して実施しましょう。

●ピーリングの効果と適応

効果

- ・古い角質を除去する
- ・角質の生まれ変わり作用を促す
- ・メラニンを浮き上がらせる
- ・真皮層でのコラーゲン生成を促進する

適応

- ・にきび、浅いにきび痕
- ・肌のクスミ
- ・肌荒れ、乾燥した皮膚
- ・老化した皮膚、小じわ(皮膚の若返り)
- ・薄い色素沈着
- ・肉割れ、妊娠線
- ・他の薬剤の浸透性を高める効果



術前・術後の処置や注意点は？

ケミカルピーリングは、術前の前治療や術後の後治療が非常に重要です。角質や表皮を剥がすこととなりますから、表皮が持つ本来のバリア機能や水分保持機能が失われます。よって、それに対する適切な処置が必要になります。

術前には、使用する薬剤等に対するアレルギーテストやカウンセリング、場合によっては効果を見るための施術部の写真撮影を行い、施術が可能かどうかを判断します。術後には、紫外線の防御処置や保湿、皮膚炎に対する処置などを行います。また、施術後しばらくは化粧を禁止されることが多いようです。

さらに、バリア機能が一時的に弱まることで、通常はほとんど皮膚から吸収されないビタミンCの吸収効率が上がることから、メラニンの生成抑制効果があるビタミンCローションの塗布を行う場合もあります。

